

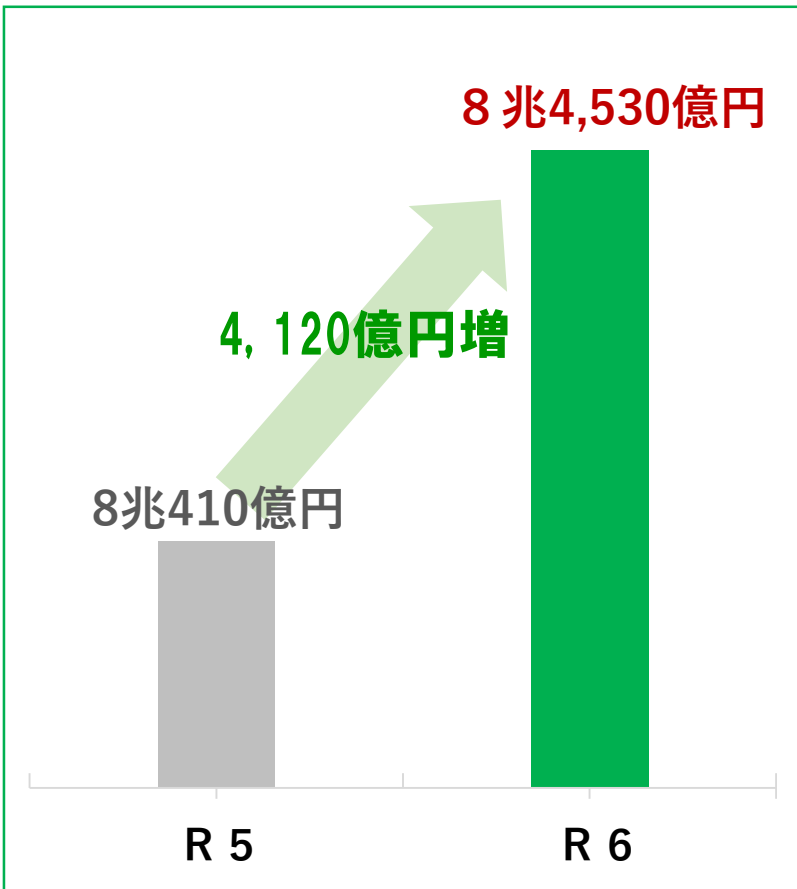
# 東京の雇用就業を考える専門家会議（第4回）

令和6年2月9日

# 東京都の令和6年度予算案について

- ◎ 令和6年度予算案 : **8兆4,530億円** <対前年度**4,120億円増**>
- 産業労働局予算 : **6,758億円** <対前年度**31億円増**>
- 局予算のうち雇用就業対策 : **514億円** <対前年度**41億円増**> ※施設整備費を除く

## 【令和6年度予算案（一般会計）】



## 【産業労働局関係予算 内訳】

(単位：億円)

区分	R 6	R 5	増減
東京都	84,530	80,410	4,120
<b>産業労働局</b>	<b>6,758</b>	<b>6,727</b>	<b>31</b>
中小企業対策	4,750	4,826	△76
産業・エネルギー対策	724	585	139
観光産業振興	306	264	42
農林水産対策	285	294	△9
<b>雇用就業対策</b>	<b>545</b>	<b>615</b>	<b>△70</b>
(内事業費)	<b>514</b>	<b>473</b>	<b>41</b>
(内施設整備費)	31	142	△111

※R5予算は当初予算額

# 働き方改革・人材確保に関する今後の施策展開の方向性

- ✓ 都内中小企業の人手不足は、一層深刻さを増している
  - ✓ 働き手を確保し持続的な成長を実現するには、都内中小企業の働き方の底上げとともに、ポストコロナにおいて、働き方を新たなステージに前進させる取組が必要
- ⇒ 女性の活躍推進、DX人材の育成、リスクリング推進、多様な就業形態の活用などを通じて、中小企業を担う人材確保・育成とその基盤となる働き方改革を一層推進

## 方向性 I

中小企業の働き方の底上げ

## 方向性 II

中小企業から「未来の働き方」を発信

## 方向性 III

リスクリングの促進・人材確保力の強化

## 方向性 IV

女性のキャリアアップ・管理職登用を後押し

## 方向性 V

新しい就業形態（兼業・副業・フリーランス）の活用

## 方向性 VI

DX人材の育成・テクノロジーの活用推進

# 施策展開の方向性 | 中小企業の働き方の底上げ

## 課題

- ・ 中小企業等が抱える課題を適切に把握し、一層の働き方改革を促進する必要
- ・ 男性育業や働き方改革に取り組む企業の割合が低い
- ・ ポストコロナにおける企業戦略としてのテレワークの見直しが必要

## 来年度の取組の方向性

### 1 働き方改革に関する専門家による支援の充実

■ 働き方改革パワーアップ応援緊急対策事業 ★1 **4.1億円** **新規**

### 2 男性育業の一層の推進

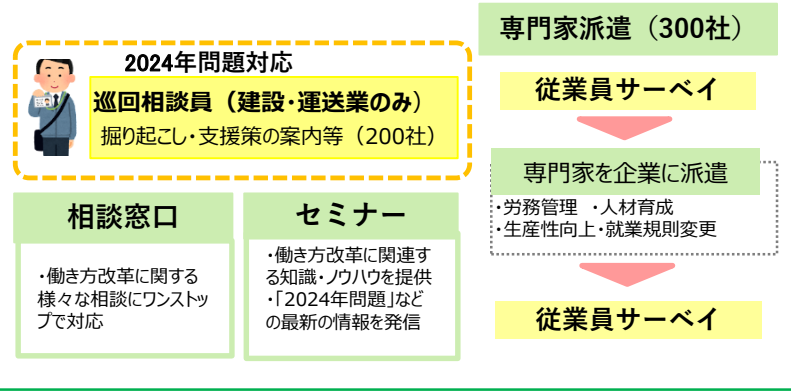
- 男性育業推進リーダー事業 **1.1億円** **新規**
- 働くパパママ育業応援事業 **16.2億円** **拡充**

### 3 企業の戦略としてのテレワークを推進

- テレワーク定着強化事業 ★2 **4.7億円** **新規**
- 育児・介護との両立のためのテレワーク導入促進事業 **4.4億円** **新規**
- サテライトオフィス利用促進事業 **0.7億円** **新規**
- サテライトオフィス勤務応援事業 **0.7億円** **新規**

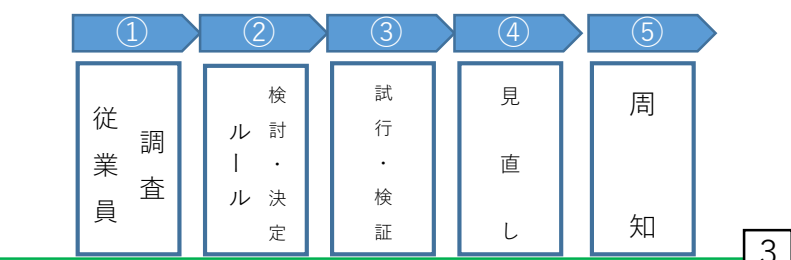
### ★1 働き方改革パワーアップ応援緊急対策事業

専門家を企業に派遣し、従業員サーベイの実施による社内の課題把握と働き方改革の推進等を支援



### ★2 テレワーク定着強化事業

従業員のニーズやテレワーク運用上の課題を踏まえた「テレワークルール」等を定めるための取組を支援



# 施策展開の方向性 II 中小企業から「未来の働き方」を発信

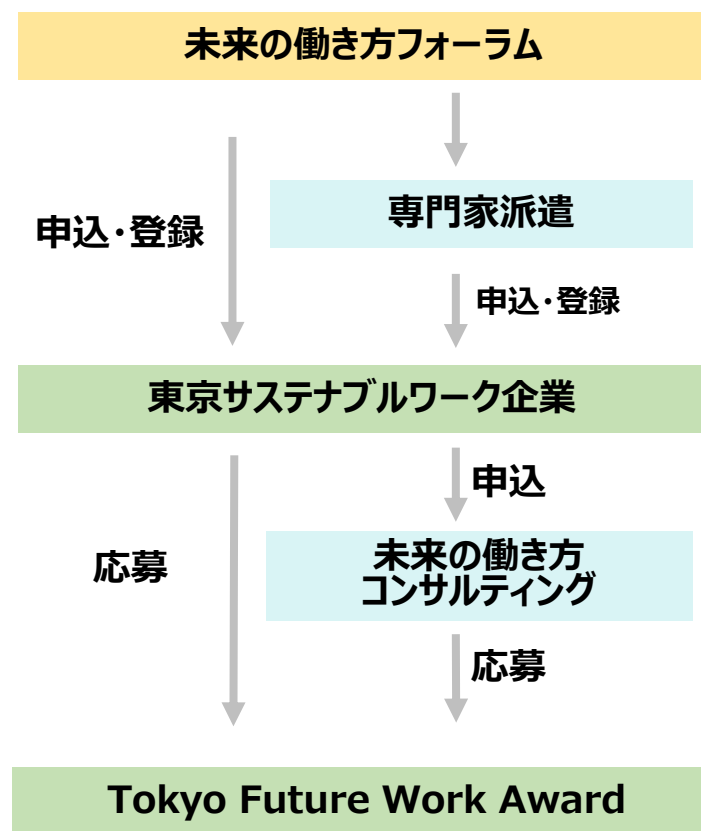
## 課題

- ・働き方改革関連法により「最低限の働き方改革」は浸透したが、真の働き方改革は道半ば
- ・残業のない「スマート」な働き方を実践する企業へのインセンティブや、優れた取組を継続する仕組み「Awards」が必要（東京くらし方会議）

## 来年度の取組の方向性

### 働き手と企業の成長を可能にする 中小企業ならではの働き方のモデルを創出・発信

- **東京の未来の働き方推進事業** 2.0億円 **新規**
  - ・ **未来の働き方フォーラムの実施**  
多様な働き方やデジタルを活用した働き方改革に関するフォーラムを開催
  - ・ **「東京サステナブルワーク企業」の登録**  
「残業の少ない働き方」等の柔軟な働き方に取り組む企業を登録
  - ・ **多様な働き方の実現に向けた専門家派遣**  
東京サステナブルワーク企業登録を目指す企業に、社労士等の専門家を派遣
  - ・ **未来の働き方コンサルティング**  
登録企業を対象に、テクノロジーを活用した「未来の働き方」に向けた取組を支援するため、中小企業診断士やITコーディネータ等の専門家を派遣
  - ・ **「Tokyo Future Work Award」の表彰**  
テクノロジーを活用した生産性の高い働き方を実現する企業を表彰し、賞金を授与



# 施策展開の方向性Ⅲ リスキングの促進・人材確保力の強化

## 課題

- ・ コロナ禍以降の雇用情勢の回復による、人手不足感の高まり
- ・ 大企業に比べ、中小企業ではリスキングが遅れている傾向
- ・ 企業における人材育成では指導する人材が不足

## 来年度の取組の方向性

### 1 職業能力開発センター等の取組充実

- 総合相談（人材総合サポートデスク）の実施 **0.6億円** 拡充
- 女性向け委託訓練（育児等両立応援訓練） **1.3億円** 拡充

### 2 職業訓練の魅力発信

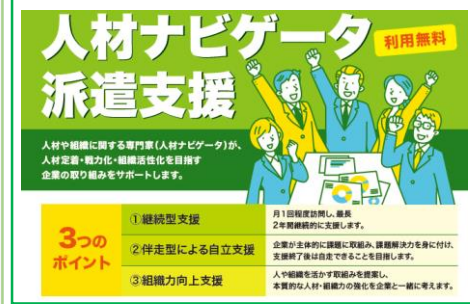
- 職業訓練の情報発信機能の強化（しごとセンター校） **1.8億円** 新規

### 3 「人財」育成・定着を支援

- 中小企業人財推進事業★1 **2.0億円** 新規
- ものづくり等産業人材育成支援事業★2 **1.9億円** 新規

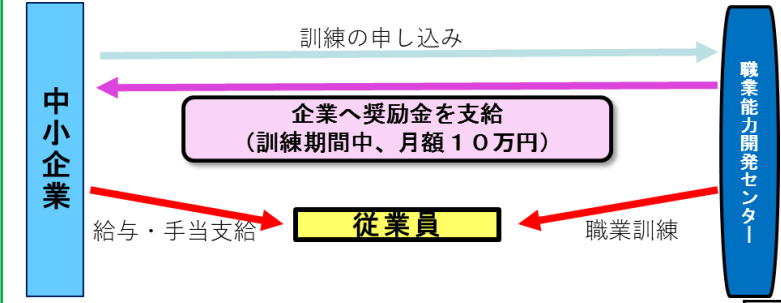
#### ★1 中小企業人財推進事業

中小企業の人財推進をナビゲートするため、ハンズオン支援やHRテックの試験導入、ものづくり中小企業の職場体験、技能を受け継ぐ人材の定着を支援




#### ★2 ものづくり等産業人材育成支援事業

職業能力開発センターの訓練を通じて従業員の技能習得を図る中小企業に対して、奨励金を支給し、ものづくり人材等の育成を推進



# 施策展開の方向性Ⅳ 女性のキャリアアップ・管理職登用を後押し

## 課題

- ・ 都内事業所の管理職に占める女性の割合は、依然として低い
- ・ 管理職になりたくない主な理由は、「ストレスや責任が大きい」、「家庭との両立が困難」

## 来年度の取組の方向性

### 1 働く女性のネットワーク構築

- 働く女性への総合サポート事業 ★1 **3.9億円** **新規**

### 2 女性活躍に関する相談の機会・場所の確保

- 非正規・ひとり親・困難を抱える女性等向け就業自立支援 **0.4億円** **新規**
- 働く女性への総合サポート事業【再掲】 **3.9億円** **新規**

### 3 キャリア形成の過程で生ずる課題への支援

- 働く女性のライフ・キャリアプラン応援事業 **0.5億円** **継続**
- 働く女性のウェルネス向上事業 **0.6億円** **拡充**
- 妊娠や子育て等の知識に係る企業内の普及啓発事業 ★2 **3百万円** **新規**

#### ★1 働く女性への総合サポート事業

経営者や管理職等、女性一人ひとりの状況にあった支援を行う拠点を開設し、女性の働き方や活動の基盤づくりを後押し



#### ★2 妊娠や子育て等の知識に係る企業内の普及啓発事業

不妊治療から妊娠・出産・育児等の一連の知識や支援策に関するリーフレットを作成し、企業や従業員への活用が進むよう、普及啓発を実施



# 施策展開の方向性Ⅴ 新しい就業形態（兼業・副業・フリーランス）の活用

## 課題

- ・フリーランスのうち取引先とのトラブルを経験したことがある割合は約4割
- ・追加就業希望者（今後副業を増やしたい）は増加傾向
- ・中小企業が外部人材を活用する上での課題は「マッチング」「労働条件や契約条件の調整」

## 来年度の取組の方向性

### 1 兼業・副業・フリーランスなど新しい就業形態による人材確保を後押し

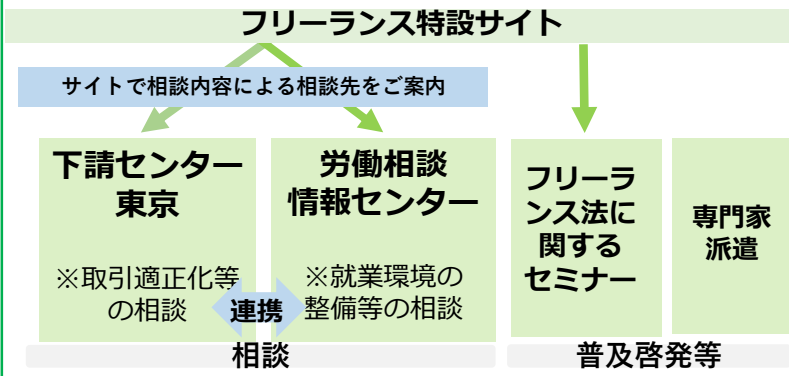
- フリーランス就業環境整備支援事業 ★1 5百万円 新規
- 東京テレワーク推進センターの運営 ★2 2.5億円 拡充
- 東京の未来の働き方推進事業 【再掲】 2.0億円 新規
- ミドルシニア人材パラレルキャリア構築支援事業 0.7億円 新規

### 2 フリーランスが安心して働ける環境づくり

- フリーランス就業環境整備支援事業 【再掲】 ★1 5百万円 新規
- フリーランス取引適正化支援事業 ★1 0.1億円 新規

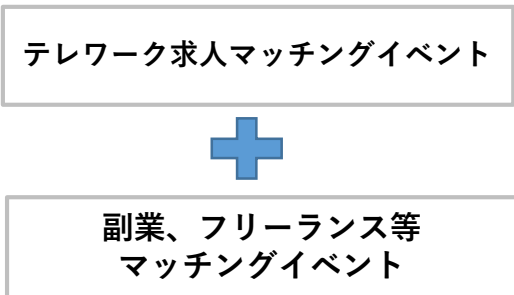
### ★1 フリーランス就業環境整備支援事業 フリーランス取引適正化支援事業

法の適切な運用に向けて、発注者・フリーランス双方への情報提供や専門家による制度整備の支援、相談窓口を設置



### ★2 東京テレワーク推進センターの運営

テレワーク取組企業のマッチングイベントに、副業やフリーランスをテーマとしたイベントを追加





# 施策展開の方向性VI DX人材の育成・テクノロジーの活用推進

## 課題

- ・産業構造の変化に対応するため、企業におけるDXを推進していくことが急務
- ・規模が小さい企業ほど、デジタル人材が不足している傾向

## 来年度の取組の方向性

### 1 人材の掘り起こしとデジタルスキル習得支援

- 女性向け委託訓練(女性デジタルカレッジ事業) ★1 2.7億円 拡充
- 女性ITエンジニア育成事業 2.9億円 新規

### 2 企業内のDX人材育成とテクノロジーの活用を推進

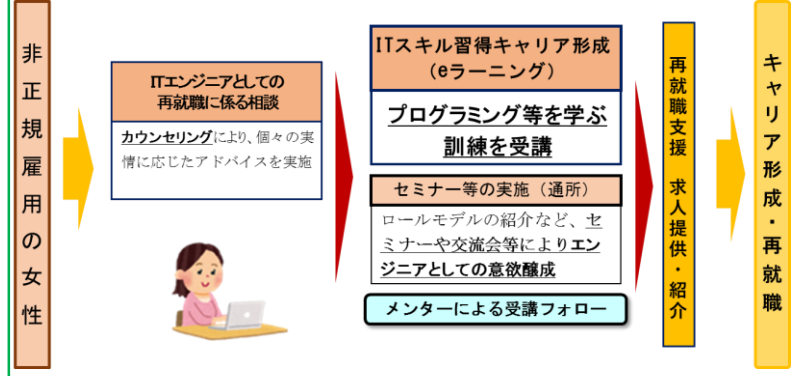
- 中小企業人材スキルアップ支援事業 5.1億円 拡充
- 中小企業人財推進事業 【再掲】 2.0億円 新規

### 3 業界ごとの課題に即したDX人材育成を支援

- 団体連携型DX人材育成推進事業 ★2 0.2億円 新規

#### ★1 女性ITエンジニア育成事業

非正規雇用の女性等に対してITエンジニアとしての就業を促進するため、能力開発及び就職支援を一体的に実施



#### ★2 団体連携型DX人材育成推進事業

業界や企業の実情を踏まえたDX人材育成セミナーの開催を支援

